図書館だより　令和3年特別号

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。
2、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。
本読んでください。

新着図書とその紹介

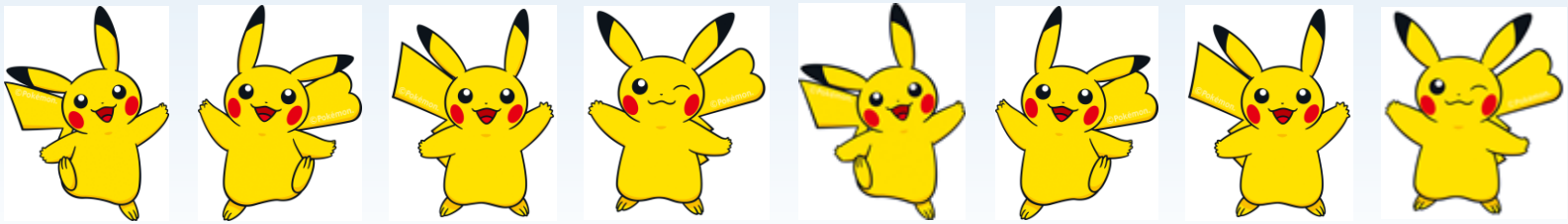
・『ペリリュー　10 巻』（武田一義）
戦争の漫画。かわいい絵柄からは想像がつかないほど内容は重いです。

・『俺の残機を投下します』（山田悠介）
落ちぶれたプロゲーマーが再びトップを目指す話。

・『高校生に知ってほしい心理学』（宮本聡介・伊藤拓）
心理学やカウンセリング技術に興味のある人におすすめ。

・『問答の言語哲学』（入江幸男）
「論理的である」というのは、いったいどういうことなのか。

スペースの都合でピカチュウ載せます。



スペースの都合でクイズでも出します。
1 問でも正解したらカントリーマアムあげます。

☆本にまつわるクイズ☆

1.『ブレーメンのおんがくたい』で活躍する動物には、ろば、犬、猫がいますが、ほかにはどんな動物が活躍するでしょうか？

2.『100 万回生きたねこ』の主人公の猫は、何色の猫を好きになったでしょうか？

3.『ぐりとぐら』では、ぐりとぐらは大きなたまごでカステラを作ります。では、あなたが調理実習で作るカステラは誰のところに持っていくべきですか？

4.『おおきなかぶ』では、かぶを引っこ抜くために、おじいさんがおばあさんを、おばあさんが孫をよんできます。では、孫が呼んでくるのはどんな動物でしょうか？

5.『スイミー』では、自分だけ他とは色が違う魚が自分だけの役割をみつけることになります。では、自分の個性を発揮して自分だけしかできないことをすることと、誰にでもできるものの誰もしたがらないようなことを積極的に行うことを考えたときに、どちらの方が人類全体の幸福度をあげることにつながりますか？

裏もあります。

委員会活動を振り返って

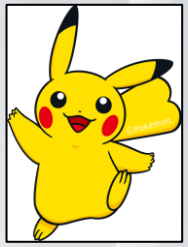
昨年度の図書委員のメンバーに委員会活動の感想を書いてもらいました。

1年A組　橋本怜央菜
★図書委員会では、おもに新聞の用意や帯作り、本の紹介カード作りをしました。個人的に一番楽しかった作業は帯作りです。その本にあう帯を考え、イラストや文章でまとめる作業でした。賞品ももらえるので、すごくやりがいがあります！！

1年A組　星姫乃
★委員会の仕事をして楽しかったことは、本の帯を作ったり、本の紹介カードを書いたりしたことです。もちろん、楽しいことだけではなく、新聞配達など忙しい仕事もたくさんあったけど、どれもやりがいのある良い仕事でした。

1年B組　草野澪那
★私が図書委員会で良かったと思うところは、本にふれる機会が増え、ポップを描いたりしてとても色々な体験ができたことです。これからもこの体験を活かして様々な仕事もしていきたいと思いました。

1年B組　加藤優吾
★図書委員会の仕事に1年間就いてみて、自分で成長したなと思うことはあまり無かったのですが、自分で借りて読んだ本の内容に、何度も衝撃を受けたことを鮮明に覚えています。今まではライトノベルや漫画ぐらいしか読んでいなかった僕に、真新しい世界を見せてくれた本たちを、僕は忘れません。
→佐藤：忖度がなくて良い。



2年A組　吉田茉那佳
★私は今回、初めて本の帯を作りました。本の帯を作ることは簡単ではなかったし、どんなデザインにしたら読みたくなるのかを考えるのが私にはとても難しかったです。

2年B組　熊田真衣
★私が委員会活動で頑張ったことは、本のポップをかいたことです。長沼図書館に集まりおすすめの一冊を選んで絵など工夫して作成することができました。とてもやりがいのある活動ばかりで大変でしたが楽しかったです。

司書室からみなさんへ

国語科　梅田
「本を読むと心が豊かになる」という話を聞きますが、私はそうは思いません。ただ、読めば今まで知らなかったことを知ることができると思います。どうせ限りある人生なので、生きているうちにいろんなことを知っておきたい。それが、私が本を読む理由です。

司書　佐藤
「文芸における同じ好みほど、美しい友情の礎として確実なものはない」P. G. ウッドハウスという作家の言葉です。本当にその通りだと思います。読書は物語の追体験をさせてくれるという意味で娯楽として優れていると思いますが、僕にとっては読書後に人と感想を共有しあうのもまた楽しみの1つです。同じ個所で同じように心がうごかされたことがわかったときの嬉しさはひとしおです。その人と何かを分かりあえたような感覚になるのです。本を読んだらぜひ感想を語りあってみてください。